

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

2月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ： 報告数は9,136件（前月比1.3、前年同月比0.9）で、1月から微増していますが急激な増加はみられませんでした。昨年同月とほぼ同じ件数でおさまっています。県下全域で流行しました。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は12,509件（前月比1.13、前年同月比0.87）で、1月からさらに増加しており、インフルエンザの増加に伴うものです。その他ではA群溶連菌咽頭炎と咽頭結膜熱が増加に転じ注目されます。他はすべて減少していました。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 報告件数は65件（前月比0.7、前年同月比0.3）でした。1月から急に減少傾向を認めます。昨年同月と比較しても少数の報告です。大半が2歳未満の乳幼児の報告です。
2. 咽頭結膜熱： 報告数は107件（前月比1.4、前年同月比0.9）でした。12月をピークに1月は半減しましたが、2月に再び増加に転じました。年齢的には1歳をピークに6歳以下の幼児の報告が多くみられます。菊池地区からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数は414件（前月比1.4、前年同月比1.1）でした。1月は減少しましたが、2月に再び増加に転じました。咽頭結膜熱と並んで今月もっとも大きな増加幅を示しています。例年と比較し多いようですので今後の動向に注意が必要です。3歳から7歳を中心に報告がみられます。宇城、菊池、人吉、有明地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎： 報告数は2,033件（前月比0.8、前年同月比0.8）でした。12月をピークとして1月、2月は漸減しています。インフルエンザに次いで多い報告数です。
5. 水痘： 報告数は77件（前月比0.5、前年同月比1.3）でした。昨年は12月に突出した増加を認めましたが、1月、2月と減少傾向を認め、昨年の少数報告の件数に近づいてきました。4～5歳を中心に報告を認めます。菊池地区からの報告が若干多いようです。
6. 手足口病： 報告数は100件（前月比0.7、前年同月比12.5）でした。昨年は例年のパターンと異なり10～11月に緩やかなピークを認めましたが、その後は減少傾向を示しています。
7. 伝染性紅斑： 報告数は10件（前月比1.0、前年同月比0.0）でした。昨年は1月をピークに年間を通じて減少の一途をたどりました。1、2月はそれぞれ10件とごく少数の報告でした。
8. 突発性発疹： 報告数は121件（前月比0.9、前年同月比1.1）でした。2月はわずかに減少していますが、年間を通じて大きな変動なく推移しています。
9. 百日咳： 報告数は0件（前月比—、前年同月比—）で、1月に引き続き、2月も報告はありませんでした。

10. ヘルパンギーナ : 報告数は42件(前月比0.6、前年同月比6.0)でした。1月からさらに減少し、例年並みの少数報告で推移していますが、昨年と比較すると多い件数です。天草からの報告がやや目立ちました。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は193件(前月比0.9、前年同月比0.7)でした。1月からさらに減少し、昨年同月と比較しても少数で推移しています。菊池、天草、人吉地区からの報告が若干多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数は54件(前月比0.9、前年同月比0.5)と前月に続き減少しています。年齢別では30~49歳台にピークがありますが、6か月~2歳の乳幼児層にも散発がみられます。熊本48件、菊池3件、有明3件の報告です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :
報告数は55件(前月比1.1、前年同月比1.7)で、前月比、前年同月比ともに増加しています。男女別は、男性24件、女性31件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15~59歳に見られ、女性は15~54歳に見られます。地域別は、熊本が38件、次いで有明8件、御船5件、八代、宇城各2件、でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :
報告数は27件(前月比1.6、前年同月比1.8)で前年同月比ともに増加しています。男女別は、男性11件、女性16件で、女性に多くみられます。年齢別は、男性は15~69歳に見られ、女性は20~70歳以上に見られ、男女ともに幅広い年齢に見られます。地域別は、熊本16件、次いで八代4件、菊池3件、有明2件、御船、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :
報告数は4件(前月比0.6、前年同月比1.3)で、前月比は減少し、前年同月比は増加しています。男女別は、男性1件、女性3件で、女性に多くみられます。年齢別は、男性は25~29歳に見られ、女性は20~39歳に見られます。地域別は、4件とも熊本でした。
4. 淋菌感染症 :
報告数は19件(前月比0.9、前年同月比1.1)で、前月比は減少し、前年同月比は増加しています。男女別は、男性16件、女性3件で男性に多く見られます。年齢別は、男性は20~49歳に見られ、女性は15~24歳に見られます。地域別は、熊本が16件、次いで御船、有明、宇城各1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

22件（前月比1.0、前年同月比1.0）の報告がありました。熊本11件、阿蘇4件、八代1件、水俣1件、人吉3件、有明2件でした。年齢は0歳：2件、1～4歳：1件、5～9歳：1件、30～34歳：1件、45～49歳：1件、55～59歳：2件、60～64歳：1件、65～69歳：1件、70歳以上：12件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

4件（前月比0.8、前年同月比0.8）の報告がありました。熊本1件、有明3件でした。年齢は1～4歳：1件、70歳以上：3件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はありませんでした。（前月比－、前年同月比－）。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 1件（前月比1.0、前年同月比－）の報告がありました。熊本1件でした。年齢は1～4歳：1件でした。

2. 無菌性髄膜炎： 3件（前月比－、前年同月比0.3）の報告がありました。熊本2件、阿蘇1件でした。年齢は15～19歳：1件、55～59歳：1件、70歳以上：1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 15件（前月比0.6、前年同月比1.1）の報告がありました。熊本6件、阿蘇3件、八代1件、水俣2件、人吉2件、天草1件でした。年齢は1～4歳：1件、5～9歳：5件、10～14歳：7件、15～19歳：1件、70歳以上：1件でした。

4. クラミジア肺炎： 報告はありませんでした。（前月比－、前年同月比－）。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：

7件（前月比1.4、前年同月比0.2）の報告がありました。熊本5件、人吉2件でした。年齢は0歳：1件、1～4歳：2件、5～9歳：3件、10～14歳：1件でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	20件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： E型肝炎	1件
	： A型肝炎	1件
5類感染症	： 侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	： 侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	： 梅毒	6件
	： 播種性クリプトコックス症	1件